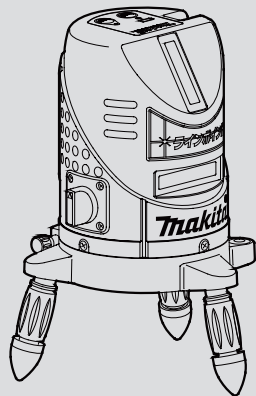


取扱説明書

屋内・屋外兼用墨出し器

おおがね・ろく
ラインポイント
受光器対応

SK23P



このたびは マキタ屋内・屋外兼用墨出し器をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



安全・使用上の注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書では注意事項を次のように使い分けています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上必ずお守りください。

安全上の注意

本機はレーザー光を投射します。レーザー安全基準（JISC6802：2011）のクラス2に準拠していますが、以下の内容に注意してください。

警告 取り扱いを誤ると使用者が死亡または障害を負う可能性のある内容です。

- 光学器具で直接レーザー光を見ないでください。
望遠鏡やルーペなどでレーザー光を直接見ると危険です。
- レーザー光を直接のぞかないでください。
- レーザー光路は眼の高さを避けてください。
- レーザー光路に立ち入らないようにしてください。
- レーザー光路に反射物を置かないでください。
- レーザー光を他の人に向けないでください。

レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。
障害が疑われる場合は速やかに医師の診断を受けてください。

注意 取り扱いを誤ると使用者が傷害を負う可能性または物損事故が発生する可能性のある内容です。

- 絶対に分解や改造をしないでください。
本機を分解、改造すると故障、感電の原因となります。
- 長期間ご使用にならない場合は乾電池を取り出してください。
乾電池から液が漏れ出して、故障の原因となります。
- 使用者への安全教育についてレーザー光の性質、危険性などについて、十分ご理解の上ご使用ください。

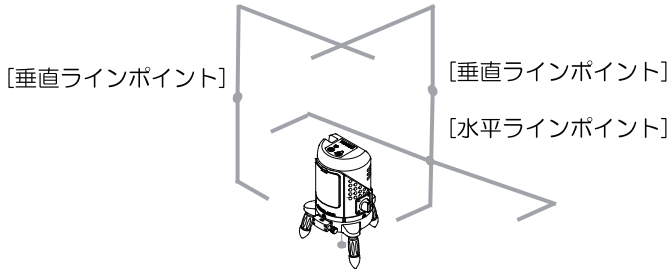
〔使用上の注意〕

- 作業前には点検を行い精度を確認してください。
精度の確認方法通りに、作業前に必ず精度確認を行ってください。
点検しないと、誤差が生じた場合に誤った作業をすることになります。
詳しくは、【精度の点検】をご覧ください。
- 強い振動・衝撃を与えないでください。
本機に強い振動・衝撃が加わると破損や性能低下をまねくことがあります。
振動や衝撃が加わった場合には精度の点検を行ってください。
- 本機を移動させるときは電源をLOCK-OFFにしてお持ちください。
作業が終了したら電源スイッチをLOCK-OFF側にいっぱいまで回してください。
電源がOFFになると同時に内部がロックされます。電源スイッチは途中で止めないでください。ロックが不十分だと移動の際、内部に大きなダメージが加わる可能性が高くなります。
- 異常が認められた時は、本機をお使いにならないでください。
すぐに使用を中止して、お買い上げ店、または最寄りの当社営業所に修理をお申し付けください。
- ライン光の交点およびポイント光付近では受光器を使用しないでください。
水平ライン光と垂直ライン光との交差付近およびポイント光付近ではレーザー光の出力が高まるため受光器での検出ができませんので本機を水平回転させるか検出位置を変更してご使用ください。
- ライン光上のポイント光は明るい場所などでラインがはっきりみえないときの目安とするものなので、ポイント光で墨出し作業はしないでください。
ラインポイント光は水平ライン光と垂直ライン光の交差付近および垂直ライン光の所定の位置に調整されていますが、精度を保障するものではありません。
- 電源スイッチをON側に回してレーザーが点灯しない場合は、本機を2、3回軽く振ってください。
本機を2,3回軽く振ってもレーザーが点灯しない場合は、使用を中止して、お買い上げ店、または最寄りの当社営業所に修理をお申し付けください。

本機の特徴

■ ラインポイントについて

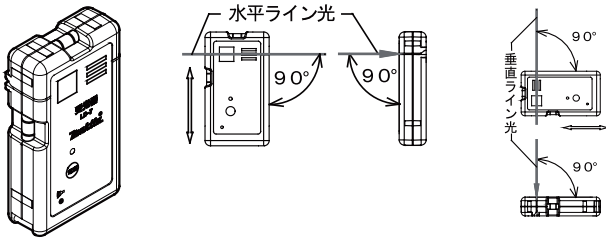
明るい環境でもライン光の位置がわかりやすいポイント光を同時に投射します。



水平ラインポイントは垂直ライン光との交点付近にポイント光を投射します。垂直ラインポイントは垂直ライン光の水平位置から少し上方にポイント光を（10m先で床面から約1.5m上方）投射します。

■ 受光器（別販売品）対応について

明るい場所でライン光が見えにくい場合は、受光器（別販売品）を使用してライン光を検出することができます。



主要機能

	SK23P
レーザー投射光源	赤色半導体レーザー
波 長	635nm（スポット光650nm）
光 出 力	各1.0mW以下（クラス2 JIS C 6802：2011）
ラ イ ン 幅	2.5mm/10m
ライン投射角	垂直 140° ± 20%、水平 140° ± 20%
スポット径	1.5mm/1m（下部スポット光）
ライン切替モード	3モード（ろくモード、おおがねモード、おおがね+ろくモード）
受光器モード	2モード（通常、連続点灯：受光器モード：受光器用/バース点灯）
指 示 方 式	ジンバル機構による自動鉛直水平指示
鉛直指示範囲	±2.5°（鉛直水平センサーにより範囲外は消灯で警告）
制 動 方 式	マグネットダンパー方式
精 度	投 射 光 ±1mm/10m お お が ね 90° ± 0.01°
電 源	単3アルカリ乾電池（LR6/1.5V）× 3本
使 用 時 間	ろく：約 50 時間 おおがね：約 24 時間 おおがね+ろく：約 15 時間
使用温度範囲	0℃～40℃
電池交換表示	電池交換表示LED（黄色）点灯
寸 法	径φ 86mm x 高さ 179mm（突出部を除く）
質 量	0.60kg（乾電池含む）
三 脚 ネ ジ	W5 / 8
標 準 付 属 品	単3アルカリ乾電池3本、ソフトケース

※仕様および形状などは改良のため変更する場合があります。

※仕様値は使用環境条件等により異なります。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は最寄りのマキタ登録販売店、もしくは下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

- 運搬時、保管時は、ソフトケースに入れてください。
- 高温、多湿、振動、ほこりの多い場所を避けて保管してください。
- 長期保管する場合は、乾電池を抜いてください。乾電池の液漏れにより故障の原因になります。

【お手入れについて】

- レーザー光射出口の窓は光学ガラスを採用しているため汚れると高精度の検出ができなくなることがありますので、柔らかい布などで拭き取ってください。
- 本機が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼって拭き取ります。その後、もう一度乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。

・アルコール、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。

（変色、変形、変質など故障の原因になります。）

- 本機を水洗いしないでください。故障の原因になります。

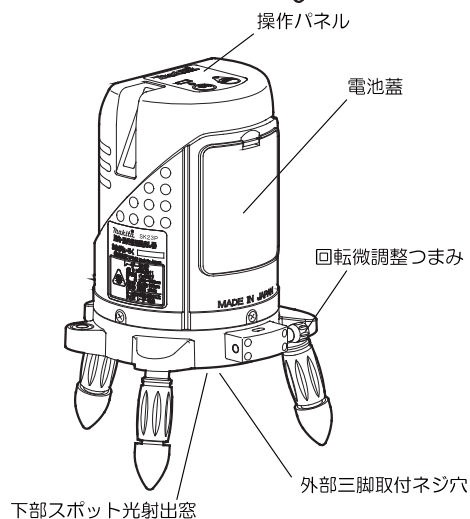
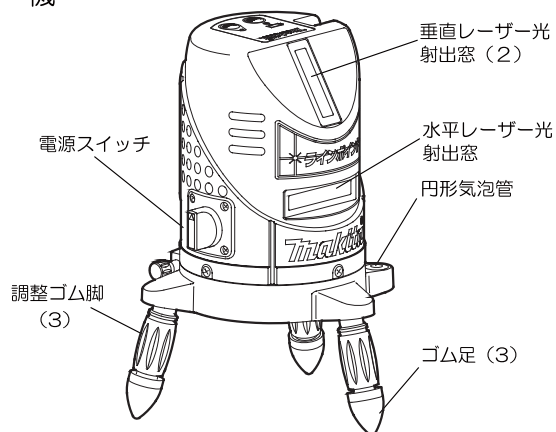
事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	東京支店	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771
札幌営業所	(011) (783) 8141	東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪営業所	(06) (6351) 8771
旭川営業所	(0166) (29) 0960	中野営業所	(03) (3337) 8431	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
釧路営業所	(0154) (37) 4849	足立営業所	(03) (3899) 5855	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
函館営業所	(0138) (49) 9273	大田営業所	(03) (3763) 7553	奈良営業所	(0742) (61) 6484
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	橿原営業所	(0744) (22) 2061
帯広営業所	(0155) (36) 3833	多摩営業所	(042) (384) 8411	和歌山営業所	(073) (471) 4585
北見営業所	(0157) (26) 9011	立川営業所	(042) (542) 1201	田辺営業所	(0739) (25) 1027
仙台支店	(022) (284) 3201	横浜支店	(045) (472) 4711	沖縄営業所	(098) (874) 1222
仙台営業所	(022) (284) 3201	横浜営業所	(045) (472) 4711	兵庫支店	(0794) (82) 7411
古川営業所	(0229) (24) 0698	川崎営業所	(044) (811) 6167	三木営業所	(0794) (82) 7411
青森営業所	(017) (764) 4466	平塚営業所	(0463) (54) 3914	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
八戸営業所	(0178) (43) 3321	相模原営業所	(042) (757) 2501	神戸営業所	(078) (672) 6121
盛岡営業所	(019) (635) 6221	湘南営業所	(0466) (87) 4001	姫路営業所	(079) (281) 0204
水沢営業所	(0197) (22) 5101	静岡支店	(054) (281) 1555	広島支店	(082) (293) 2231
郡山営業所	(024) (932) 0218	静岡営業所	(054) (281) 1555	広島営業所	(082) (293) 2231
いわき営業所	(0246) (23) 6061	沼津営業所	(055) (923) 7811	福山営業所	(084) (923) 0960
福島営業所	(0243) (22) 1204	浜松営業所	(053) (464) 3016	三原営業所	(0848) (64) 4850
新潟支店	(025) (247) 5356	甲府営業所	(055) (220) 2882	岡山営業所	(086) (243) 4723
新潟営業所	(025) (247) 5356	金沢支店	(076) (249) 5701	宇部営業所	(0836) (31) 4345
長岡営業所	(0258) (30) 5530	金沢営業所	(076) (249) 5701	徳山営業所	(0834) (21) 5583
山形営業所	(023) (643) 5225	七尾営業所	(0767) (52) 3533	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
酒田営業所	(0234) (26) 3551	富山営業所	(076) (451) 6260	松江営業所	(0852) (21) 0538
秋田営業所	(018) (863) 5205	高岡営業所	(0766) (21) 3177	高松支店	(087) (867) 6411
宇都宮支店	(028) (634) 5295	福井営業所	(0776) (25) 1911	高松営業所	(087) (867) 6411
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	岐阜支店	(058) (274) 1315	徳島営業所	(088) (626) 0555
小山営業所	(0285) (25) 5559	岐阜営業所	(058) (274) 1315	松山営業所	(089) (951) 7666
水戸営業所	(029) (248) 2033	多治見営業所	(0572) (22) 4921	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
土浦営業所	(029) (821) 6086	松本営業所	(0263) (85) 4751	高知営業所	(088) (884) 7811
埼玉支店	(048) (777) 4801	長野営業所	(0268) (22) 5362	福岡支店	(092) (588) 1200
さいたま営業所	(048) (777) 4801	上田営業所	(0265) (24) 1636	福岡営業所	(092) (588) 1200
川越営業所	(049) (222) 2512	飯田営業所	(0265) (24) 1636	北九州営業所	(093) (551) 3481
熊谷営業所	(048) (521) 4647	名古屋支店	(052) (419) 0561	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
越谷営業所	(048) (976) 6155	名古屋営業所	(052) (419) 0561	久留米営業所	(0942) (43) 2441
前橋営業所	(027) (232) 5575	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
高崎営業所	(027) (365) 3688	岡崎営業所	(0564) (72) 5150	長崎営業所	(095) (882) 6112
西毛営業所	(0276) (46) 7661	知多営業所	(0569) (48) 8470	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
千葉支店	(043) (231) 5521	一宮営業所	(0586) (75) 5382	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	熊本営業所	(096) (389) 4300
市川営業所	(047) (328) 1554	津営業所	(059) (232) 2446	八代営業所	(0965) (43) 1000
成田営業所	(0476) (73) 8101	四日市営業所	(059) (351) 0727	大分営業所	(097) (567) 3520
木更津営業所	(0438) (23) 2908	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
柏営業所	(04) (7175) 0411	京都支店	(075) (621) 1135	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
		京都営業所	(075) (621) 1135	大坂支店の欄をご覧ください。	
		福知山営業所	(0773) (23) 7733		
		大津営業所	(077) (545) 5594		
		彦根営業所	(0749) (22) 6184		

株式会社 マキタ

2014年2月現在
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

各部の名称

■ 本 機



操作パネル

電池交換表示 LED

電池の容量が低下したときに、LEDが点灯して知らせます。新しい電池に交換する用意をしてください。



モード切替スイッチ

投射ライン光を切替えます。

受光器モード表示 LED

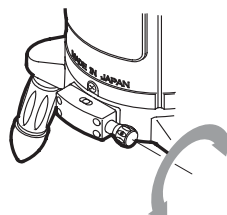
受光器モード設定時にLEDが点灯します。



受光器モード切替スイッチ

受光器モード：ライン光が見えにくいときは、受光器（別販売品）を使用してください。受光器を使用する場合は、必ず受光器モードに切り替えて使用してください。

回転微調整つまみ



回転微調整つまみを回して重くなったら回転を止め、つまみを逆方向に戻し、本体の回転で概略合わせてからもう一度つまみを合せて下さい。

ゴム足

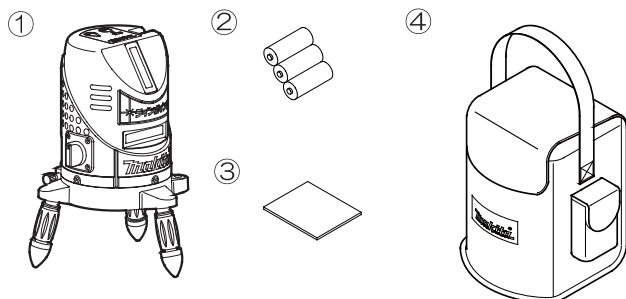


ゴム足は床面にキズを付けたくないときや床面が滑りやすいときにご使用ください。ゴム足は標準装備されています。凹凸のあるコンクリート床などでは、取り外して使用することができます。

標準付属品と別販売品

■ 標準付属品

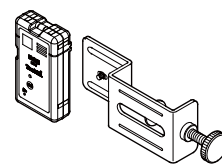
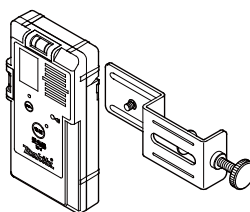
初めてご使用の際は、必ず以下の製品がそろっていることを確認してください。



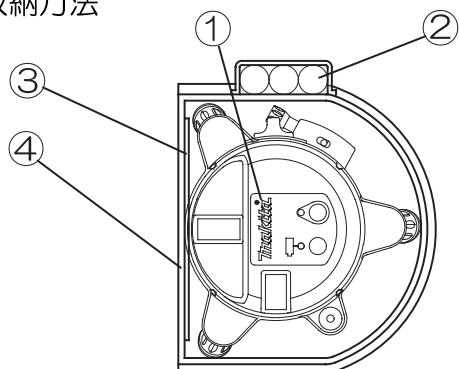
- | | |
|--------------|---|
| ① SK23P本機 | 1 |
| ② 単3形アルカリ乾電池 | 3 |
| ③ 取扱説明書 | 1 |
| ④ ソフトケース | 1 |

■ 別販売品

- ・受光器（バリエーション品）部品番号(TK00LD6001)
- ・受光器（バリエーション品）部品番号(TK00LD7001)

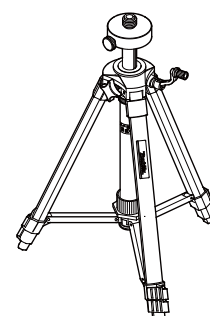


■ 収納方法



注）本機をソフトケースに収納する時は調整脚を締め込み、電源スイッチがロックOFF状態であることを確認してください。

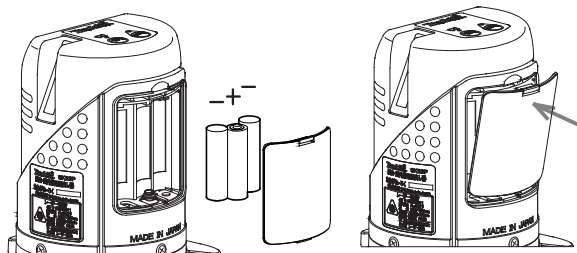
- ・回転雲台付エレベータ三脚 部品番号(TK00LM1001)



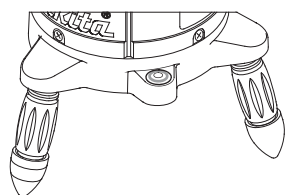
使用方法

1. 電池蓋を外します。
電池ボックスに単3アルカリ乾電池を図の向きに入れます。

電池蓋のフック部を電池ボックスの穴に入れてから電池蓋を矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押します。電池蓋がロックされます。



2. 本機を水平にします。円形気泡管の泡を赤い円の中央にくるように3本の調整ゴム脚を回して調整します。

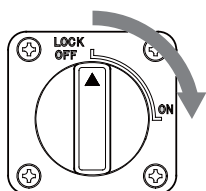


円形気泡管

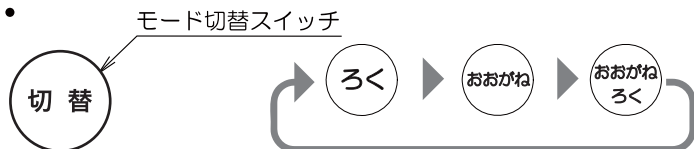
3. 電源スイッチをONにしてください。水平ライン光が投射します。

電源スイッチは途中で止めないでいっぱいまで回してください。

※ 作業開始前に、乾電池が消耗していないか確認してください。【おおがね/おおがね+ろくモード】に切り替え、水平ライン光または垂直ライン光のいずれかが暗くなったり点滅または消灯する場合は、乾電池が消耗しています。同時に新しい乾電池3本と交換してください。

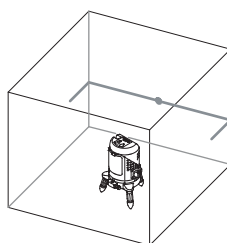


4. 作業に応じて投射ライン光のモードを切替えます。

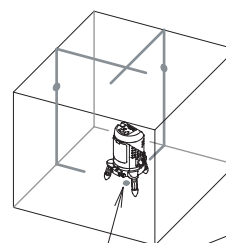


【ループバックスイッチ方式】

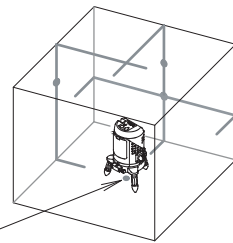
ろくモード



おおがねモード



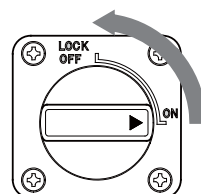
おおがね+ろくモード



下部スポット光
下部スポット光を地盤にあわせると天井に鉛直点を投射します。

※ ろく（水平ライン光）の高さは回転雲台付エレベータ三脚（TKOOLM1001）を使用すると容易にあわせることができます。

5. 電源スイッチをOFFにします。「カチッ」と音がするまで回してください。電源スイッチは途中で止めないでLOCK-OFF側にいっぱいまで回してください。内部がロックされます。

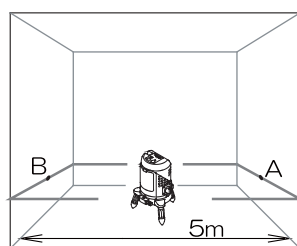


- ⚠ ロックしないで輸送すると精度に影響する場合があります。
- ⚠ 各種スイッチを操作する時には、本体に手を添えてください。本体が倒れると精度に影響する場合があります。

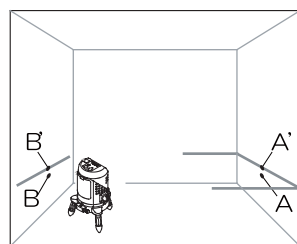
精度の点検

■ 点検して誤差が大きい場合は、お買上げ店、または最寄りの当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

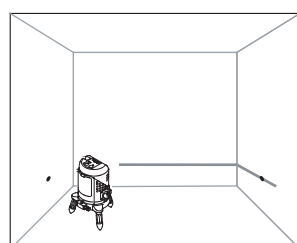
1. 水平ライン精度の点検



- ①両壁まで約5mの中央に本機を設置します。
- ②気泡管の泡が赤い円印の中央にくるように調整します。
- ③壁面に投射させた水平ライン光の位置に印（A）を付けます。
- ④本体を180°回転させ水平ライン光の位置に印（B）を付けます。

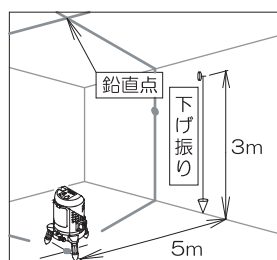


- ⑤本機を壁面から1m離れた位置に移動し、気泡管の泡を中央に調整します。
- ⑥先ほど印したB点付近の水平ライン光の位置に印（B'）を付けます。
- ⑦本体を180°回転させ水平ライン光の位置に印（A'）を付けます。（A-A'）と（B-B'）の差が1mm以内であれば正常です。

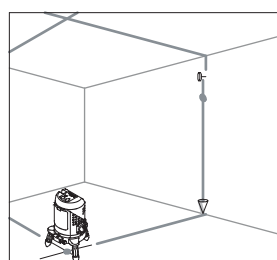


- ⑧本機を回転し水平ライン光の左端から右端まで先に記した点（A'）との差を確認します。A'点とのズレが0.5mm以内であれば正常です。

2. 鉛直点精度と垂直ライン精度の点検



- ①床から約3m離れた壁面に「下げ振り」を設置します。
- ②本機を壁面から3m~5m離して設置します。
- ③気泡管の泡が赤い円印の中央にくるように調整します。
- ④おおがねモードまたはおおがね+ろくモードに切替えます。



- ⑤天井に投射された鉛直点を観測しながら本機を水平回転させます。鉛直点がライン光の幅以上に動かなければ正常です。
- ⑥本機を水平回転させ垂直ライン光を「下げ振り」の糸に一致させます。回転微調整つまみを使用すると正確に合わせることができます。垂直ライン光と糸が合っていれば正常です。